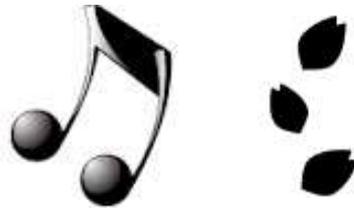


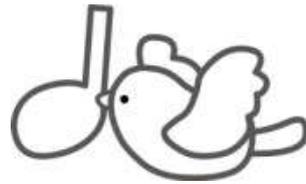


ごうたんえ  
4月8日 降誕会  
お釈迦様のお誕生日



桜が咲くとともに、木々は新芽を伸ばし  
山は再び大きく息を吹き返したように  
淡い緑に染まっていきます。  
新しい年度を迎え、  
学校や会社では身も心もフレッシュな日々を  
迎えていらっしゃるかと存じます。  
皆様、お元気にお過ごしですか？

さて、今月8日はお釈迦様がお生まれになられた日です。  
紀元前7世紀から紀元前5世紀ごろ、古代インドでは  
十六もの国々が相互に覇権争いを繰り広げていました。  
そんな十六大国の中でもインド北部のコーサラ国は  
もっとも有力な国のひとつでした。



# 大智寺だより

平成 27 年 卯月  
Vol.62

発行所  
大智寺

岐阜市山県北野  
668-1

電話：058-229-1532

《Mail》

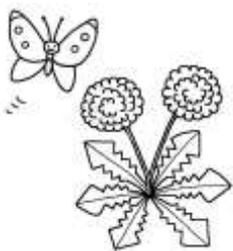
hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>



このコーサラ国の勢力範囲には釈迦族という部族が暮らしており  
カピラヴァストゥ城を中心に栄えていました。  
このお城の城主 シュッドーダナ王のお妃様が当時の習慣に従い  
出産のため郷里に帰る途中、お釈迦様は  
美しいルビンニーの花園でご誕生されました。  
生まれたばかりのお釈迦様に天の竜王は甘露の雨を降らせ  
産湯とされたそうです。

この逸話をもとに日本では、お釈迦様のご誕生をお祝いする際  
花をあしらった「花御堂」が作られ、  
花御堂の中にタライを置き、産湯として甘茶が使われてきました。



タライの中のお釈迦様はかわいらしい子どものお姿で  
「誕生仏」と呼ばれます。

誕生仏は、右手で天を指し、左手で地を指しており  
生まれたばかりのお釈迦様が7歩進み、  
「天上天下 唯我独尊」と言われた時の様子を伝えています。

てんじょうてんげ ゆいがどくそん  
「天上天下 唯我独尊」

この全宇宙において、唯一無二の尊い命をいただいた！  
命を受けて生まれてくることができました！

このまっさらな感動、喜び、実感、それらがすべて込められた渾身の一句です。

どんな赤ん坊もお釈迦様とまったく同じ心で、天地一杯の産声をあげます。  
「ここで産声をあげたらお母さんが喜ぶかも」など考えません。

下心もなければ、計算や理屈なども度外視の心境です。  
自分を自分として認識する以前の、無分別の心が命の雄叫びをあげているのです。  
空飛ぶ鳥や地を這うミミズも、受けた命を懸命に輝かせ生きています。  
命の尊さに人間も鳥も、ミミズも変わりありません。

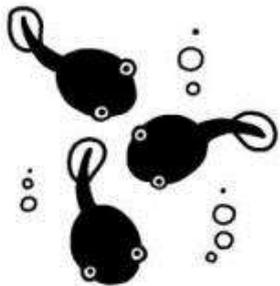


大智寺ではもう少し暖くなる5月5日 14時より  
花まつり法要をおこなう予定にしております。  
この日、お釈迦様のお誕生を祝うとともに  
自分の命の尊さ、そして他の命の尊さについて  
赤ん坊の心に立ち戻って感じたいものです。

当紙は、大智寺本堂及び墓地  
の水小屋にてご自由にお取り  
いただけます。ご活用ください。  
又、当寺ホームページにて  
過去のすべての紙面をご覧いた  
ただけます。

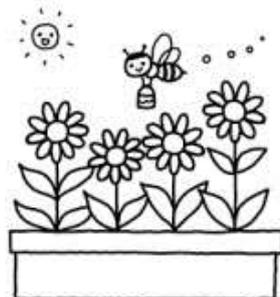
3月号発行部数  
200部

ご愛読  
ありがとうございます



## 東海環状三輪トンネル工事 大ヒノキへの影響

ファミリーパークから少しずつ掘削されてきたトンネル工事が、3月にちょうど大智寺の真裏あたりまで進んできました。毎日「ドーン」とすごい音がしています。



この工事では、大智寺の大ヒノキへの影響がもっとも心配されていました。工事を受注された大成建設様には、12月より毎週一回水脈の水位を調査していただいており、2月に急激に水位が低下してからは、週二回に回数を増やし調査していただいております。現在も地下水の急減や水位の変化、水温や電気伝導度、PHなど測定し大ヒノキへの影響を早急に察知できる体制をとって下さっています。

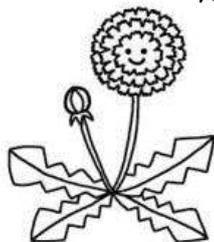
急な環境の変化は、800年を越える老木には耐えがたいものと思いますが、万が一の場合に備え、スプリンクラーやホースを駆使した散水対策も専門家の方から提案がありました。工事が無事進行することと、これ以上水位が低下しないことを祈らずにはおれません。

## 弘法堂のお掃除 ありがとうございました。

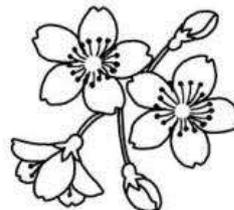
お彼岸を前に、3月7日里5号の皆様が弘法堂のお参りをしてくださいました。梅がようやく咲き始めたような、まだまだ肌寒い日でしたが手際よく廊下やお手洗いまできれいにお掃除してください、花の少ない時期にもかかわらず、春らしい色合いのお花をお供えくださいました。隙間風の冷たい中、皆様そろって大きな声でお経をお唱えいただき、本当にありがとうございました。お経の後は、ささやかですがお茶菓子で楽しいひとときを過ごせました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～  
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc  
わからないこと 質問帳 ⑫



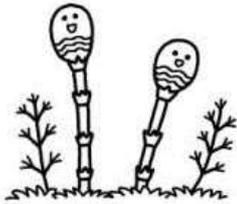
「法要を自宅以外で行う場合、位牌はどうしたらいいの？」

本来、法要はご自宅の仏間にておこないますが、便宜上、自宅ではなくホテルや食事会場などの専用の部屋でおこなう場合があります。その場合、自宅のお位牌は持っていくか否か、時々ご質問を受けます。

確かに仏壇からお位牌を持ち出すことに抵抗は感じますが、やはりその日年忌法要に当たっている方のお位牌をお持ちいただくようお願いしています。お寺で法要をなさる場合は、お寺でお預かりしている寺位牌があれば自宅からお位牌をお持ちいただく必要はありません。

お位牌をお仏壇から取り出す際には、側面の金が施されている部分は、なるべく素手で触らないよう気を付けていただきご戒名やご命日が彫ってある黒塗りの部分を前後に持つようにすると、年月が経っても、金箔がはげにくいと言われています。もちろんお位牌は紙袋に入れて持ち歩くのではなく、柔らかい生地の風呂敷などにお包みください。

日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』



お経のやさしい和訳（和讃）から  
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典  
31ページより

⑫

「<sup>それ</sup>夫人間の身を受けて <sup>このよ</sup>此世に生まれ来る事は」

さて田植えの時期を間近に控え、乾いた田んぼに少しずつ水が張られていきます。

農家の方のお話では、おいしいブランド品種のお米を育てると  
実りの時期にもものすごい数のスズメがやってきて、大変とのこと。

この地球上では数えきれないほどの命が、動植物問わず今日も生まれて死んでいきますが  
その中でも私達は「人間」の身を受けて生まれてきました。

人間は長い歴史の中で、二足歩行をし道具をつくり、文化芸術を楽しみ、  
今は自分より優れた頭脳をもつコンピューターやロボットを作りつつあります。

でも人間のもつ素晴らしさはそれだけでしょうか。

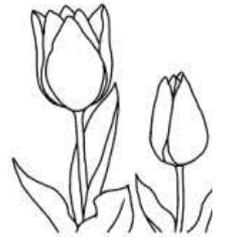
「<sup>たしよ</sup>他所の田へ 追うてやりたや <sup>む</sup>群らスズメ」

自分さえ良ければという気持ち、他人をねたむ気持ち、隣の田と比べてしまう気持ち  
きつと誰しも思い当たるところがあるのではないのでしょうか。

「他所の田も 追うてやりたや 群らスズメ」

「へ」を「も」に変えることで世界は大きく変わっていきます。

心のあり方や価値観を自由に変えていける素晴らしさは、人間特有の大きな力といえます。



今月のひまわり

百花繚乱の春を迎え、山ではウグイスが上手に  
鳴くようになりました。お寺の椿も盛りとなり、  
花を愛でて楽しんでくださるお客様も徐々に増え  
てきました。皆様がいかがお過ごしですか。

さて春に様々な花を咲かせる椿は、見て楽しむ  
だけでなく、枝葉を燃やし木灰を作り、古来より  
麴菌を繁殖させるため使われてきました。炊いた  
ご飯をお茶碗に盛って木灰をかけておくと、強い  
アルカリ性になり有害菌は死滅して、麴菌だけを  
純粹に培養できるのだとか。まるでお米に花が咲  
いたように見えることから「粧（こうじ）」という  
字が生まれました。灰をまくことで花を咲かせた  
「花咲かじいさん」のお話がつい思い出されます。

思えば、私達もお茶碗に盛られたご飯と同じか  
もしれません。毎日職場や学校からイライラや悲  
しみ、緊張や不安など様々な感情を持ち帰り、心  
は浮き沈みます。一人で抱え込んだら、ご飯を  
単にほっておいだ時のように雑菌が繁殖し、ひど  
いと腐ってしまいます。知らず知らずのうちに、  
人から受けている温かい言葉かけこそ、雑菌から  
心を守ってくれる木灰なのかもしれません。

禅語に「禍は慎家の門に入らず」とあります  
が、禍の元は昔から「口」と言われます。感情を  
ぶつけるような言葉を慎み、お互いに温かい言葉  
をかけ合う「花咲かじいさん」になることができ  
れば、禍の入る余地などなくなってしまうです。  
この春、まずは夫婦そろって「花咲かじいさん」  
を心がけつつ、和やかにお花見でも楽しみみたいも  
のです。

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

ほろ苦くってくせになる たら芽のごま味噌和え

- ① たら芽はゆがいて、適当な大きさに切る。
- ② 赤みそ50g、砂糖大さじ3、みりん小さじ1、出汁小さじ2を合わせ  
弱火でぐつぐつ踊るまで練り上げ、火からおろす。
- ③ ごまをすり鉢でする。
- ④ みそだれにごまを入れて、みりんを小さじ1最後に入れて軽く混ぜる。
- ⑤ できあがったごまみそに、たら芽を和えてできあがり。



春は芽を食べ、夏は葉を食べ・・・ってゆーけど、ほんとその通りやよ。  
今はスーパー行っても季節関係なしやけど、今しか食べれんものもええもんやよ。



# ～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

## 第二十五回： 禅の食事



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

さて禅宗では「身体を調べ、心を調えることで、やすらかな生活を送る」ことが説かれていますが、どちらかという、まずは身体を調えることを重視します。言い換えれば、心や頭がついてこなくとも、まずはとにかく形から入る教えです。坐禅や読経、写経から、玄関で履物をそろえる、合掌するといった姿まで、その意味や理屈、効果など考えることなく、身体を調べていきます。

そんな身体を支えるのが、毎日の食事です。各ご家庭でも「いただきます」「ごちそうさま」の合掌を習慣にされていらっしゃると思いますが、禅宗では「食事五観文（しょくじごかんもん）」を食前にお唱えします。このお経は大智寺檀信徒日課經典にもあり、とても短いのですぐに覚えられます。

禅の修行というと、まず坐禅が思い浮かびますが、実は食事も入浴も、作務掃除も生活すべてが修行の場です。ことに命をいただく食事は大切にされ、修行道場では食堂での私語はもちろん箸を置く音、汁物をすすする音、お椀をおく音、どんな音も許されません。さて音の許されない食堂で、どんなことを思い食事をするのか、これから「食事五観文」を少しずつ読みながら垣間見ていきたいと思ひます。



### ♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎  
東日本大震災物故者追善供養  
毎月 第四日曜日  
定例写経会

#### 今月の日程

4月26日（日） 一回 500円  
（内 300円は義援金）  
要申込

3月写経会 備忘録

ようやくぽつぽつと桃の花が咲き始めた日曜日。写経会では今の時期にぴったりの落語「花見酒」を味わいつつ、般若心経の「不生不滅 不垢不浄 不増不減」について考えてみました。私達は一つの命をいただいて生まれ、一つの命をお返しして死にます。地球上では「+1」が「-1」される、そのほんの一瞬をどう生きるのか。さて「花見酒」を教訓に桜を見ながら深めていきたいものです。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む  
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓  
1区画：38万円～  
（墓石代金含む）

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。